



新組織発足へ 会員の力 結集を



中小企業診断協会兵庫県支部
副支部長

相良 紘

一日も早い復興を願っています

このたびの東日本大震災で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

被災者支援に向けて中小企業診断協会としても本部や各支部で様々な支援の取り組みが行われております。その一つとして、中小企業庁から要請のありました被災企業の経営支援に対する現地相談員の登録についても、兵庫県支部からも多数の方に登録いただいております。現地の状況は非常に厳しいものと思われれますが、16年前の阪神淡路大震災から今日の復興までを体験した我々の支援が、非常に有益なものになることはいうまでもありません。皆様方のご支援と被災地、被災企業の一日も早い復興を願っております。

また、宮城県支部から兵庫県支部に対して、阪神淡路大震災からの復興に向けてどのような取り組みが行われてきたかの問い合わせが直接入ってきました。これに対しまして、行政機関が中心となって取り組んだ復興支援プロセスと、兵庫県支部診断士がかかわった案件、その後各機関が発行した復興関連諸資料等をとりまとめ、宮城県支部に情報提供しております。このとりまとめに当たりまして、種々情報をお寄せいただいた皆様のご協力で御礼申し上げます。

新組織設立に向けて

協会本部や支部からの情報で皆様すでにご承知のことかと思いますが、診断協会では今、新たな組織体制に向けた動きが進んでおります。まだ確定的なもの

とはなっていませんが、これまでの本部、支部の一体組織ではなく、本部も支部もそれぞれ独立した組織となり、協会一体としては連合会方式となります。すなわち、兵庫県支部も独立した組織として立ち上げ、運営していくこととなります。

これらに向けて支部においては2年前からプロジェクトチームを構成して検討を進めております。その一環として21年秋には会員アンケートを実施しましたが、まだ先のことと思われる方が多かったのか、あまり意見は寄せられませんでした。しかし新たな組織体制となることにより、兵庫県組織独自の活動がより可能となってくるとともに、会員診断士により有益な組織を作り上げていかなければなりません。そのためにも皆様の貴重な意見が求められています。

総会資料にもありまして、現在の支部会員数は206名となっております。しかし県内に在住・勤務している方や独立診断士の方で、協会や支部に所属していない人が多数いることも事実です。このことは、協会や支部に魅力がないからとか、有益ではないからといった理由が大半かもしれません。しかし診断士制度を維持させていくためには、中小企業診断士の資格を保持している人たちが一丸となって活動し、経済社会に大きく貢献する制度であると広く認識させていくことが必要です。

新たな組織づくりに向けた検討作業は今後も続けていきますが、本年秋には、現支部から新たな組織の立ち上げについての臨時総会を開催する予定となっております。その時には新組織の骨格も皆様に提示していきたいと考えております。皆様のご意見、ご協力をよろしくお願い致します。

農業の現状と これからの農業ビジネス(後編)

有限会社 篠ファーム 代表取締役 高田 実

前号と今号の2回にわたり、ハバネロをはじめとした農業および園芸商品の企画・生産・加工販売を行い、昨年度の更新研修でも講師をしていただいた有限会社篠ファーム(京都府亀岡市)の高田実社長に、農業ビジネスについて伺っています。前号では日本農業の現状と問題点およびマーチャндаイジングの重要性について語っていただきました。今回は高田社長の農業ビジネスにかける思いを披露していただきました。

前編は <http://www.shindan-hg.com> 機関誌「診断ひょうご」の「診断ひょうごNo.92」にてご覧いただけます。



代表取締役 高田 実

非常識を常識に変える

弊社は今から16年前、農園芸関係で長年培ってきた私の経験やスキルを生かす目的で会社を立ち上げました。現在は農園芸に関する数事業の活動をしておりますが、その中で

も主力となりつつある野菜事業を11年前に立ち上げ、国内で出回っていない野菜の品種を数十品目選定し、現在200名近くの生産者と栽培契約しています。ここでは、ネーミングやパッケージなど五感に訴えるマーチャндаイジングにより付加価値を付けた商品作りを行い、首都圏を中心に全国の高級スーパーやこだわり青果店などと提携して販売網の構築を進めております。この事業は「京の新野菜の発信で豊かな食生活への提案」をテーマに京都商工会議所の知恵ビジネスプラン認定を今年の2月15日に受けました。

また、当初から取り組んでおりますハバネロは、ギネスブックにも載ったほどの激辛唐辛子



新しい野菜の数々

で、あまりにも激辛のため、しばらくはどこにも受け入れていただけませんでした。そこで、5年前からこだわ



ハバネロ商品

りの食材とハバネロを組み合わせた加工食品を開発し、辛いもの好きの方はもちろん、苦手な方まで受け入れていただける工夫を凝らした商品が、現在では20種類を数えるに至っております。

このように、最初は市場から拒絶されたハバネロですが、非常識を常識に変えるオンリーワンの差別化マーチャндаイジングの実践により、今年は200万個の実の栽培計画に至っております。言うまでもなく、今のところ追従はなく、ハバネロ栽培経験やスキルの蓄積で、当面は独走態勢を維持できるものと期待しております。弊社には「失敗」と言う文字がありません。つまり、あきらめず売れるまで続けていくことを実践し、その大切さを実感しております。また、並行して京都産ハバネロ果実100%で仕上げたペーストをコアに、食品メーカーや飲食店で定番として使っていただけるようになってきております。このためハバネロの増産に向けて契約栽培面積を広げていくことも可能と

なり京都・亀岡の特産品開発・地域振興に繋がってきていると自負しています。

しかし、事業の規模拡大にはどうしても多額の資金が必要になります。そこで、弊社において企画したシーズを独自のノウハウで育成した「事業の苗」を関心ある企業の力をお借りして、事業を大きく育てていけるような「事業のリレー化」も視野に入れていきたいと思えます。

高齢者や高校生とタッグ

全国7,800ヶ所(京都府140ヶ所)あると言われている限界集落(65歳以上の方が集落の半数以上を占めている)活性化の一環として「ふるさと野菜のおすそ分け」事業を企画し、行政の協力を頂き活動しております。本事業は、農村地域の高齢者(65歳以上)の方を対象に、ややもすると食べきれず土に返されている「自家消費の農産物」を、都会の消費者に定期的に手紙付きで送る「ふるさと野菜のおすそ分け」という事業です。これによって、心の交流や人的交流が生まれ、地産地消・食育・安心安全・ふるさとづくりなどを通じて、最終的には地域の活性化に繋がっていきたく考えております。



「ふるさと野菜のおすそ分け」事業に協力してくれているお年寄りと野菜

また、補完的に地域の情報発信として「ふるさと通信」や都会の方がふるさとに訪問する「ただいま交流会」、マスコミリリースなど啓蒙活動も積極的に取り組んで維持拡大に努めております(<http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>)。この取り組みは大阪商工会議所・大阪NPOセンター主催のCB(コミュニティビジネス)・CSO(市民社会組織)おおさかアワード2009で栄誉ある大賞を受賞し、審査委員長より、新しいソーシャルビジネスで実現性の高いビジネスモデルとして高い評価を頂きました(<http://www.osakanpo-center.com/cso/oubo.html>)。



「ハラペーニョ」と生産農家の方

このご縁でふるさと地域の方々と、「一集落・逸品」の企画を立てメキシコの代表的な料理「タコス」に使われているサルサに欠かせない「ハラペーニョ」の特産化の取り組みをさせていただいております。

もうひとつの取り組みとして、京都府下の農業高校2校との新しい野菜の開発があります。社会経験の少ない生徒さんと弊社の経験やスキルを活用した農産物のマーチャンダイジングにより、今まで農業分野では難しいとされる価格決定や付加価値の高い商品化を行い、これを流通させる事業展開で農業高校の役割を明確にしたうえで、地域特産に繋がる活動のプロデュースを行っています。

4年前にスタートした京都府立農芸高校では、イタリア系の茄子を「京しずく」と命名し、今では関東中心に出荷し、農芸高校ブランドとして広く注目をされており、マスコミの露出も増え、地域農業者の参画も出始めてきております。

また、昨年からの取り組みとして京都府立峰山高校弥栄分校の農業実習において、イタリア系の赤い大茄子を「京ぼんぼり」と名づけ、生産をスタートしたところ、マスコミが取材してくれたり、地元ラジオ局から協力を得て通信販売をしていただくことができたりして、今年さらなる飛躍を目指しております。

弊社は、農園芸で40年以上の経験やスキルを生かして、今までの「耕す農業」と「マーチャンダイジングの脳業」の融合を実現した新しい農業の企画展開に取り組んで生きています。今後とも、無形資産である知恵の強みを生かし、オンリーワンの付加価値の高い企画提案で新しい農業づくりを目指して、「地域のプロデューサー」として活動ができればと思っております。

新入会員紹介



有元 史朗 (ありもと しろう)

2010年に登録致しました。日商岩井(株)(中国留学と駐在を経験)、NI帝人商事(株)を経て、現在、神戸の婦人服セレクトショップに勤務しております。単に日本向けに仕入れるだけでなく、中国、ヨーロッパへの売り込みに力を入れており、昨年は中国現地法人設立も致しました。アパレル関連企業が多い兵庫県ですので、是非業界の方がいらっしゃったら、中国ビジネスなどを含めいろいろと情報交換させて下さい。何卒よろしくお願い致します。FACE BOOK「有元史朗」で検索して下さい。



石川 由美子 (いしかわ ゆみこ)

昨年(平成22年)11月に入会しました石川です。兵庫県支部にはプロコン育成塾を受講したことをきっかけに入会いたしました。システムエンジニアの仕事を通して経営に興味を持ち、平成22年4月に中小企業診断士登録と同時に独立いたしました。1年目はこれまでのSEとしての経験を、企業支援にどのように活かしていったらよいか模索していた年でした。諸先輩や企業から教えていただくばかりだったように思います。2年目の今年は、1年目に学んだことを自分なりに消化し、自分の専門分野を作るための土台作りの年と考え、一歩ずつ、何ごとにも全力で取り組んでいきます。今後ともよろしく願いいたします。



稲葉 晃 (いなば あきら)

平成6年、中小企業診断士に登録。定年退職した5年前の初心・宣言を振り返った。「起業宣言!この壮大な転換期に、自らのビジネスを創造すべく船出する。ベンチャー・中小企業が最高の顧客価値を創造するための強力なビジネスサポーターとして社会貢献している姿をめざし、Lightning & Companyを起業する」。そして6年目を迎えた4月、東京、大阪支部の所属から住まいしている兵庫支部へ転属しました。いくつになっても夢を大切に、万年青年たる活動をしていきますので、皆様お付き合いのほどよろしく願いいたします。 <http://www.lightning.co.jp/>



梅林 守 (うめばやし まもる)

はじめまして。梅林守と申します。中小企業診断士の登録は平成19年4月で、今年で5年目になります。私は診断士登録後、大阪市内の経営コンサルティング会社に転職、約4年間勤務した後、今年4月1日に独立開業を果たし、これを機に、大阪支部より兵庫県支部に移籍いたしました。これまでアパレル、ペットケア用品等のメーカーの営業として、流通業界に長年携わって来た経験と、コンサルティング会社での経験を活かし、独立診断士としての仕事を通じて社会へのお役立ちをしていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しく願いいたします。 <http://www.u-m-e.com>



瓜生 行克 (うりゆう みちかつ)

事務所を神戸に移したのを機に、兵庫支部に引越してきました。本業は共同店舗やショッピングセンターの企画・開発等、中でも建物の基本計画等が得意分野です。そう、何を隠そう建築屋さんなのです。設計指針は「まーい頭で四角く納めます」。計画時は柔軟な発想で多方面の検討を行い、最終的には投資採算性のことも考えデザイン性も考慮しながら経済的に四角く納めていく。35年弱の総まとめをしています。また最近はや育メンならず家事メンを行っています。少し珍しい職種ですがお気軽に声を掛けて頂きますよう、宜しくお願いします。



柿沼 太一 (かきぬま たいち)

はじめまして!1973年生まれ38歳の柿沼と申します。弁護士登録10年目を過ぎた頃、もっと人の役に立てる場があるのではないかと考え、診断士受験を決意しました。本業との兼ね合いもあり、受験期間はやや長くなってしまいましたが、その過程で様々なことを学ぶことが出来たので、振り返ってみれば良かったかなと思っています。法律はもちろん企業経営についても的確なアドバイスを出来る弁護士を目指し、色々なことを一生懸命やったいこうと思っています。皆様、よろしく願いいたします。



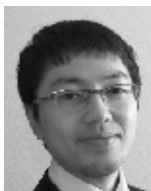
小新田 元子 (こしんだ もとこ)

2011年4月に登録をしました、小新田元子と申します。生まれは加古川、現在は明石に住んでいます。勤務先は、大阪にあるアパレルメーカーとITサービス会社の合弁会社で、グループ会社向けシステム開発を担当(SE)させていただいています。ビジネススキルの底上げをしたいと思診断士試験に挑戦しました。まだまだ経験不足・力不足の点が多く、それらをいかにして改善していくかが、今の課題として感じているところです。今後は診断士としてお役に立てるよう日々がんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



志水 功行 (しみず のりゆき)

プロコン育成塾第6期生としてお世話になり、支部会員に登録させていただきました。中小企業の製造メーカー・商社で、海外営業を行ってきました。その経験を活かし、海外進出支援を専門分野として活動しています。中小企業では、海外との取引を行っている企業が少ない状況です。しかし、「Made in Japan」の製品を支えている中小企業だからこそ、その可能性を秘めています。素晴らしい技術・製品やサービスを持っている中小企業が、海外に新たな可能性を見出す支援を行っていきたく思っております。

**神馬 豪** (じんば こう)

大学卒業後約15年間、コナミ、カプコンという2社のゲーム会社に勤務して参りました。主に事業戦略の立案やマーケティング業務に携わって参りましたが、その他にも経営企画からパチンコ店の従業員まで幅広い仕事を経験してきました。スピードが速く、常に新しい技術、サービスに対応した事業推進が求められるゲーム業界で培った経験や知識を活かし、多くの企業や人々に貢献できるよう、努力していきたいと思っております。夏には独立を予定しておりますので、ご指導いただければ幸いです。宜しくお願いたします。

**武田 正樹** (たけだ まさき)

初めまして、武田と申します。甲南大学でのアメリカンフットボール漬けの4年間の後、アパレル専門商社に就職し、5年間ほど営業職に従事しました。現在は、兵庫区で社会保険労務士事務所を開業しております。これからも自己研鑽に努めるのはもちろんのこと、営業マンとして、社会保険労務士として、今までに蓄えた知識と経験を生かして、中小企業のお役に立てるような業務もしていきたいと思っておりますので、皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

**立花 俊雄** (たちばな としお)

2010年10月に診断士登録しました立花と申します。1961年生まれの50歳です。帰国子女(その頃にはまだこの言葉はなかったのですが)の強みを活かして、語学会社で22年間企画営業に携わってきました。今後は、「営業ノウハウ」を武器に各企業様の営業力強化を支援していきたいと思っております。趣味はスクーバーダイビングです。非常勤インストラクターとして神戸や大阪のダイビング・ショップをお手伝いしてきました。現在はダイビング・クラブを趣味で運営しています。今後とも宜しくお願申し上げます。http://www.office-yj.com

**佃 浩輝** (つくだ ひろき)

私は、IT業界で技術者としてシステムエンジニア、データベース技術者として小規模から大手企業の基幹システムまで開発・運営に多数携わってきました。情報の利用技術の試行錯誤が発生する開発現場を通じて、低コストで既存のシステムの利用価値の向上や、生産性向上に繋がったケースを幾度も経験しました。低コストで既存システム・パッケージソフトを業務に適合させたい、経営戦略と連動させたいと考えられている企業様、社内のIT企画力を向上させ、今後のシステム導入に役立てたいと考えられる企業様は是非ご相談ください。

**寺内 規浩** (てらうち のりひろ)

はじめまして、寺内と申します。現在は、たつの市にあるナガセテムテックス(株)という化学品製造メーカーにて人事の仕事をしております。企業内診断士として力を発揮できればと考えておりますが、まだまだ力不足を痛感している毎日です。さすが診断士、といわれるような仕事ができるようにもっと色々なことを学び、経験していきたいと考えております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

**内藤 敏** (ないとう さとし)

皆さまはじめまして。内藤敏と申します。昭和51年生まれ34才です。姫路工業高校を卒業した後、電機メーカーで品質管理や生産現場の生産性改善の仕事に13年間行ってきました。その後、診断士資格取得を契機に支援機関に職を移し、現在はインターネットを活用した販路開拓支援の仕事を行っています。この1年は企業内診断士として、現在の仕事に精進し、将来プロコンとしての糧となるスキルの蓄積を図ります。また、一期一会を大切に先輩会員の皆さまと交流を深めていきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

**福嶋 康徳** (ふくしま やすのり)

大学時代は、ロケットの姿勢制御、光ファイバーセンサーの研究に従事。社会に貢献する企業を希望して電鉄企業に入社。駅、車掌、運転士の業務を経験。出改札システムの転換点となる「スルッとKANSAIカードプロジェクト」や、「ICカードPiTaPaプロジェクト」を担当。鉄道技術設計、主任研究員、運転保安部門やケーブルテレビ事業、エンターテインメント事業など様々な事業領域の実務経験があります。現在は、マネジメント部門の管理職として執務しています。

http://happy.ap.teacup.com/user840211/

**藤原 正幸** (ふじむら まさゆき)

2010年4月の診断士登録です。自宅は尼崎です。産業用機械製造業(攪拌機メーカー)に勤務しています。今は勤務先で、原価管理・利益管理の再構築に関する取り組みや、経営の品質を高めるための取り組みを行っています。一方外部では、受験機関にて中小企業診断士取得支援の活動を行っています。今後は、診断士として多くの方との出会いやご縁を大切にしていきたいとともに、これまでの経験や自己研鑽に精進することで、少しでもお役に立てる診断士となるように取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

**横山 隆** (よこやま たかし)

はじめまして、平成23年4月より兵庫県支部に入会いたしました横山隆です。私は今まで、県下のJAで農産物の集出荷と補助金関係等、また食品小売業で惣菜の製造・販売を経験しています。今後はそれらの経験を活用し、兵庫県産農産物の流通における川上から川下までを専門領域にできるよう自己研鑽をして、農業経営の活性化のお手伝いをしたいと思っています。最後に、何かと至らない未熟な人間ですので、皆様にご迷惑をおかけする事が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第52回通常総会、開催される



総会で報告をする石川支部長

第52回通常総会が、去る平成23年5月26日に神戸市産業振興センターにおいて開催されました。会議の冒頭、支部会員の出席者36名と議決権行使を含む委任状提出者94名を合わせて定足数に達し、総会が成立した事が報告されました。

次いで議案の審議に移りました。第1号議案「平成22年度事業報告書(案)及び決算書に関する件」について、総務委員長の奥村より事業報告及び決算報告がありました。引き続き、蔭山監事より会計監査(平成23年4月15日実施)の結果、適正かつ正確に会計処理が行われた旨の報告がありました。第1号議案については特に質疑はなく、採決の結果、第1号議案は可決承認されました。

第2号議案「平成23年度事業計画(案)及び収支予算書(案)に関する件」について、奥村より事業計画案及び収支予算案についての説明がありました。その後質疑を行いました。その主なものは

- 公益法人改革に伴う支部の対応状況について…本部及び当支部の取組経過と今後の取組計画について、石川支部長から説明がありました。(議事次第(6)報告事項)
- 東日本大震災における東北地方への支援について…宮城県・岩手県・福島県の各支部長との連絡に当たっている大森副支部長より、「現時点は情報収集段階であり、当支部としては動くべきではない」等の状況説明がありました。

その他の質疑を経た後、採決の結果、第2号議案は可決承認されました。

閉会に先立ち、来賓としてご臨席いただきました兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課課長 清家慶只様、(公財)神戸市産業振興財団専務理事 藤本義兼様よりご祝辞を賜りました。

最後に、相良副支部長が閉会を宣言し、第52回通常総会は滞りなく終了いたしました。

総会終了後、神戸市産業振興センター・レセプションルームに会場を移し懇親会が催されました。

懇親会には、兵庫県、(公財)ひょうご産業活性化センター、(公財)神戸市産業振興財団、(独)中小企業基盤整備機構近畿支部、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会、兵庫県中小企業再生支援協議会、神戸商工会議所、日本政策金融公庫神戸支店、商工組合中央金庫神戸支店、近畿税理士会神戸支部などより多数のご来賓の参会を賜り、またそれぞれの代表の方より、我が支部の中小企業に対する経営支援活動について期待と叱咤激励のお言葉をいただきました。参会した支部会員は、ご来賓の方々との対話を通じ交流を深めさせていただくとともに、和やかなひとときを過ごしていました。



懇親会で親睦を深める参加者



活発な質疑応答が行われた

(総務委員長 奥村隆生)

プロコン育成塾を受講して

独立予定もしくは独立間もない診断士のスキルアップを図るプロコン育成塾。第6期生がこのほど無事“卒業”しましたので、受講生を代表して4人の方に感想を語っていただきました。なお、第7期は10月1日(土)スタートの予定です。コンサルティングスキル向上を目指す皆さんの参加を心よりお待ちしております。詳細は当塾公式ブログ(<http://procon-ikuseijuku.seesaa.net/>)をご覧ください。



レベルのギャップ 明確に 山田 哲也

プロコン育成塾は、講義、個人ワーク、企業診断の3つで構成され、プロコンに必要なエッセンスを短期間でバランスよく学ぶことができました。講義では、基本的なスキルや知識はもちろん、プロコンとして活躍されている先生方のご経験や独自のノウハウを余すところなくご教示いただきました。この世界の厳しさを知るとともに、求められるレベルと現在の自分とのギャップが明確になりました。個人ワークではプロコンとしてスタートするための「商品作り」に取り組みます。これまでのキャリア、スキル、人脈など自身の資産を徹底的に見直す貴重な機会になります。そして、企業診断は講義で学んだことの実践の場です。1人で1社を約2ヶ月かけて診断するため、実務補習とは全く質の異なる経験ができました。



欠席時のフォローも万全 内藤 敏

私は販路開拓支援の仕事を行っています。プロコン育成塾が行われる10月～2月は仕事が最も忙しい時期であり、塾への参加を迷っていました。そのことを塾長の大場一正先生に相談したところ、「どうしても調整できない日程がある場合、他の受講生と差がないようフォローする」との言葉をいただき参加を決めました。実際、2月に行われたプロコン育成塾の報告会に私は出席することができませんでした。しかし、プロコン育成塾の先生方全員が、私1人のために日を改めて集まっていただき、フォローアップを受けることができました。この塾の講師陣や事務局は、受講生のプロコンとしての成長を促すために全力投球、120%の力でぶつかってきてくれます。民間企業から評価され活躍されるプロコンの120%の力を体感することは、同じステージを目指す上で大きな経験になることは間違いありません。



この世界の入口に立てた 近藤 二郎

プロコン育成塾での最大の収穫は1人で企業を診断できたことです。途中紆余曲折がありましたが、反省点を含め得るところが多く自信がつかしました。また、講義内容の理解が深まり、悩んでいたプロコンとしての商品作りやスタートアッププランを練り直すことにも役立っています。先生、事務局、ならびに同期の塾生の皆様に出会えたのも大きな収穫です。今後もつながりを持ち続け、さらに太くなるよう精進したいと思っています。診断させていただいた企業の方々に出会えたことも収穫です。報告会の後で今後も支援してほしいとの言葉もいただきました。もしそうなった場合は誠心誠意全力を尽くしたいと思っています。受講により他では得難い財産を得て、この世界の入口に立つことができたのは大きな前進であり、先生方には感謝しております。



多くの診断士と人脈形成 指尾 成俊

私は、プロコン育成塾の6期生として受講しました。すでにこの塾を卒業された診断士は70名以上になります。この塾では、先輩の独立診断士からさまざまなアドバイスをしてもらいながら、実際に企業をひとりで診断助言する機会が与えられます。この塾で学ぶことは、プロコンとしての心構えから始まり、人前での話し方から立ち居振る舞い、文章の書き方まで多岐にわたります。ひとりひとりに細かく指導していただけるので、私も自分では気づかなかった癖などを改善することができました。また、講師の先生方の体験談や、この塾を卒業されて実際に活躍されている方々の生の声を聞くことができるだけでなく、多くの診断士の方々との人脈が形成されました。この塾で学んだことを胸に、これからプロコンとして活躍していけるよう、ますます自己研鑽に励む所存です。

支部だより

中小企業診断協会兵庫県支部では、支部会員の満足度向上のため様々なサービスを提供しています。その一環として、本年度も「経営診断実務研修」を開催する予定です。「経営診断実務研修」は、主に企業内診断士の皆様を対象にしたサービスで、「実務従事ポイント」の取得を支援するものです。ポイント取得の機会のない方、または経営診断実務の経験をご希望の方の受講をお勧めいたします。

(昨年度は17名が受講し6ポイントの実務従事ポイントを取得しました)

詳細につきましては、近日中にお送りします「経営診断実務研修のご案内」をご覧ください。受講者数に定員がありますので、受講希望の方は早い目にご予約ください。

(総務委員会 奥村)

研究会スケジュール

● オープンセミナー(会員研修委員会主催)

問い合わせ先: 兵庫県支部 078(362)6000

日時	場所	テーマ	講師
11月		日本のものづくり経営(仮称)	兵庫県立大学 立本博文准教授

● 観光ビジネスセミナー(会員研修委員会主催)

日時	場所	テーマ	講師
7月2日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター601	観光ビジネスセミナー第1回「観光ブランド戦略」	観光ビジネス総研代表 刀根浩志氏
7月23日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター902	観光ビジネスセミナー第2回「観光地域資源のマネジメント」	観光ビジネス総研代表 刀根浩志氏
8月20日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター601	観光ビジネスセミナー第3回「観光市場動向と分析」	観光ビジネス総研代表 刀根浩志氏
9月24日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター902	観光ビジネスセミナー第4回「観光マーケティング」	観光ビジネス総研代表 刀根浩志氏
10月22日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター601	観光ビジネスセミナー第5回「着地型観光における商品の企画・造成・販売」	観光ビジネス総研代表 刀根浩志氏

※7/2~11/26 は全6回 費用12,000円(前払い)

● 診断技術向上研究会

日時	場所	テーマ	講師
7月14日(木)	兵庫県民会館 302号会議室	SNSのビジネス展開	未定(参加者全員)
8月11日(木)			未定(参加者全員)
9月8日(木)			未定(参加者全員)
10月13日(木)			未定(参加者全員)

開催日は原則、毎月第2木曜日。時間:18:30~20:30。会場:兵庫県民会館内会議室。

● 経営法務研究会

日時	場所	テーマ	講師
未定	未定	未定	未定

● 地域産業活性化研究会

日時	場所	テーマ	講師
7月6日(水)	支部事務所	未定	参加者全員
8月3日(水)	支部事務所	未定	参加者全員
9月7日(水)	支部事務所	未定	参加者全員
10月5日(水)	支部事務所	未定	参加者全員

開催日は原則、毎月第一水曜日。開始時間は18:30~20:30

● 農業研究会

日時	場所	テーマ	講師
未定	未定	未定	未定

● オンリーワン経営研究会(HOO)

日時	場所	テーマ	講師
未定	未定	未定	未定

● BSC研究会

日時	場所	テーマ	講師
6月24日(金)	支部事務所	経営改善目的BSC構築ワークシートの作成、及び導入支援のスキルアップ。 (TOCを活用した中核問題抽出手法及びその解決策策定手法の開発。)	参加者全員
7月22日(金)			
8月26日(金)			

開催日は原則、毎月第4金曜日。開始時間は18:00~20:00

連絡先:奥村隆生 okumura@cvn.bai.ne.jp

● プロコンスキル研究会

日時	場所	テーマ	講師(進行役)
未定	未定	未定	未定

● 青年部会

日時	場所	テーマ	講師
7月30日(土) 14:00~17:00	勤労会館(予定)	未定	未定

参加資格:45歳以下の支部会員 連絡先:小畑 秀之 obata@sodateru.co.jp

● 更新研修開催予定(兵庫県支部実施分)

前期:8月19日(金)、後期:9月10日(土)

編集後記

東日本大震災の発生から早3ヶ月が経ちました。犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々、ならびにご遺族をはじめとする関係各位に心からお見舞い申し上げます。16年前の阪神大震災の時被災した私たちは、多くの人に助けられ、励まされて復興することができました。今度は私たちが恩返しをする番です。診断協会兵庫県支部では、今年も新たに22名の新入会員迎えることができました。被災地の1日も早い復興を願って、新たな会員の力を加えて支部の総力を結集し、支援できればと念じております。

(方)